

令和2年度
(2020年度)

入 学 者 選 拔 要 項

令和元年7月



沖縄県立芸術大学

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 (098)882-5080

<http://www.okigei.ac.jp>

令和2年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜要項

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	1
第2	募集人員	3
第3	一般入試	3
第4	推薦入試	7
第5	社会人入試	10
第6	私費外国人留学生入試	11
第7	その他	
1	障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について	12
2	募集要項等の資料請求について	12
3	入試成績開示請求について	13
別表1	入学者選抜方法一覧	14
別表2	入学者選抜試験の実施教科・配点等（美術工芸学部）	15
別表3	入学者選抜試験の実施教科・配点等（音楽学部）	16

令和2年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人材

本学の教育の理念をよく理解し、学修に必要な基礎的知識や表現技術と将来性のある豊かな芸術的感性を備えるとともに、さまざまな芸術文化に深く興味を持ち、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人を求めます。

3 入学者選抜の実施

2に掲げる多様な可能性を持つ志願者を幅広く受け入れるため、本学では、一般入試、推薦入試及び社会人入試を実施しています。

一般入試における入学志願者の能力等の評価及び入学者選抜の方法として、大学入試センター試験では、国語及び外国語を中心に受験科目を課し、個別学力検査等では、各学部の教育方針やアドミッション・ポリシーに基づき、実技、小論文、口述試験、面接を実施しています。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与の方針）

○大学

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探究し、解決する能力を身につけている。

○美術工芸学部

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、大学ディプロマ・ポリシーを基本に、加えて以下に掲げる学修成果を獲得し、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。
- 2 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。
- 3 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。
- 4 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。

○音楽学部

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・芸能の各分野における専門的な知識と実演、創作等の技能を修得していること。
- 2 大学の学修で養った汎用的基礎能力を活かし、主体的に研究を継続し、それらを社会に発信できる能力を備えていること。

第2 募集人員

学部	学科	専攻	コース	定員	募集人員					
					一般入試		推薦入試		社会人入試	私費外国人留学生入試
					前期日程	後期日程	県内枠	全国枠		
美術工芸学部	美術学科	絵画専攻		10	4	4	1	1	0	若干名
		彫刻専攻		5	3	2	0	0	0	若干名
		芸術学専攻		6	4	0	1	1	0	若干名
	デザイン工芸学科	デザイン専攻		20	16	0	2	2	0	若干名
		工芸専攻		24	18	0	3	3	0	若干名
	計				65	45	6	7	7	0
音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻	声楽	23	17	0	3	3	0	若干名
			ピアノ							
			弦楽							
			管打楽							
	音楽文化専攻	作曲理論								
		沖縄文化音楽学	7	4	0	2	1	0	若干名	
	琉球芸能専攻	琉球古典音楽	10	5	0	4	1	若干名	若干名	
琉球舞踊組踊										
計				40	26	0	9	5	若干名	若干名
合計				105	71	6	16	12	若干名	若干名

注1：推薦入試の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加える。

注2：推薦入試の県内、全国それぞれの枠で定員に満たなかった人員は他方の枠に算入することがある。

注3：社会人入試の募集人員は、一般入試の前期日程の募集人員に含む。

注4：私費外国人留学生入試の募集人員は、一般入試の前期日程の募集人員に含む。

第3 一般入試

1 出願資格

次の各号の一に該当し、令和2年度大学入試センター試験を受験した者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和2年3月31日までに合格見込みの者

(8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和元年8月23日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

2 選抜方法等

本学の入学者選抜は、美術工芸学部美術学科絵画専攻及び彫刻専攻は分離・分割方式の前・後期日程、美術工芸学部美術学科芸術学専攻、デザイン工芸学科及び音楽学部は分離・分割方式の前期日程により行う。

○美術工芸学部： 大学入試センター試験の得点と本学が実施する個別学力検査等の得点を合計して総合得点とし、専攻内の総合得点の上位から順に合格者とする。また、調査書も参考にする。

○音楽学部： 第1次試験の合否判定は、専攻別試験のそれぞれの成績によって行う。ただし、音楽文化専攻においては大学入試センター試験の成績も、第1次試験の合否判定に用いる。最終合否判定は、専攻別試験、音楽に関する基礎能力検査及び大学入試センター試験の得点、並びに調査書の結果を総合的に判断して合格者を決定する。

2段階選抜や帰国子女等のための特別選抜及び定員保留第2次募集は行わない。

(1) 大学入試センター試験

受験を要する教科・科目及び配点は、別表2（15ページ）・別表3（16ページ）による。なお、各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しない。

(2) 個別学力検査等

(ア) 美術工芸学部

試験科目			実技検査					小論文	面接
			素描	着彩	色彩 構成	立体 構成	塑造		
美術学科	絵画専攻	前期	◎	◎				◎	
		後期		◎				◎	◎
	彫刻専攻	前期	◎				◎		◎
		後期							
	芸術学専攻		○				○		
デザイン工芸学科	デザイン専攻		◎		◎	◎			◎
	工芸専攻		◎		◎				

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目、○印は、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

注2：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを選択する。

注3：芸術学専攻は、実技（素描）と小論文のいずれかを出願時に選択する。

注4：デザイン専攻の実技検査（素描）は、想定描写を含む。

(イ) 音楽学部

試験科目 専攻・コース		専攻試験 (第1次試験)				音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)					
		実技 検査	コール ユープ ンゲン	小論文	口述 試験	楽典 (※注5,7)	聴音 (※注6)	新曲 視唱 (※注6)	副科 ピアノ	初見 (※注7)	音楽又は 舞踊の実技 (※注8)
音楽 表現 専攻	声楽 コース	◎	◎			◎	○	○	◎		
	ピアノ コース	◎				◎	◎			◎ (視奏)	
	弦楽 コース	◎				◎	○	○	◎		
	管打楽 コース	◎				◎	○	○	◎		
	作曲理論 コース	◎			◎	◎	◎		◎		
音楽文化 専攻	沖縄文化 コース			◎	◎	◎					◎
	音楽学 コース			◎	◎	◎	○	○	◎		
琉球芸能 専攻	琉球古典音楽 コース	◎ (調弦 含む)				◎					
	琉球舞踊組踊 コース	◎				○				○ (視唱)	

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目、○印は、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

注2：各専攻の実技検査の試験曲については、「音楽学部試験曲」に掲載する。
「音楽学部試験曲」の請求方法は11ページ参照のこと。

注3：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽、琉球舞踊組踊コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器
(A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

(琉球舞踊組踊) 琉球舞踊、組踊

注4：弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注5：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注6：声楽、弦楽、管打楽、音楽学コースの入学志願者は、聴音と新曲視唱のいずれかを出願時に選択する。

注7：琉球舞踊組踊コースの入学志願者は、楽典と初見視唱のいずれかを出願時に選択する。

注8：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

* 琉球舞踊組踊コースでは、令和3年度入試から専攻試験に初見視唱を課す。又、音楽に関する基礎能力検査として楽典を課す。

【併願可能な専攻・コース】

第1志望		第2志望	音楽表現専攻					音楽文化専攻		琉球芸能専攻	
		声楽コース	ピアノコース	弦楽コース	管打楽コース	作曲理論コース	沖縄文化コース	音楽学コース	琉球古典音楽コース	琉球舞踊組踊コース	
音楽表現専攻	声楽コース					○	○	○			
	ピアノコース	○				○	○	○			
	弦楽コース					○	○	○			
	管打楽コース					○	○	○			
	作曲理論コース	○					○	○			
音楽文化専攻	沖縄文化コース							○	○	○	
	音楽学コース	○					○				
琉球芸能専攻	琉球古典音楽コース						○			○	
	琉球舞踊組踊コース						○		○		

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（専攻試験、音楽に関する基礎能力検査）に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。

ただし、

- ①音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では音楽学コースの科目を受験すること。
- ②音楽表現専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、受験する音楽表現専攻各コースの試験科目を受験すること。
- ③琉球芸能専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、「楽典」を受験すること。
- ④第2志望で作曲理論コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では作曲理論コースの試験科目を受験すること。（ピアノコースを除く）
- ⑤第2志望で琉球古典音楽コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では琉球古典音楽コースの試験科目を受験すること。

3 出願期間及び選抜期日

学部	学科	日程及び専攻	出願期間	選抜期日
美術工芸学部	美術学科	<前期日程> 絵画専攻、彫刻専攻、 芸術学専攻	令和2年1月27日(月) ～2月5日(水)	令和2年2月25日(火) ～2月27日(木)
		<後期日程> 絵画専攻、彫刻専攻		令和2年3月12日(木) ～3月14日(土)
デザイン工芸学科	<前期日程> デザイン専攻、工芸専攻	令和2年2月25日(火) ～2月27日(木)		
音楽学部	音楽学科	<前期日程> 音楽表現専攻、音楽文化専攻、 琉球芸能専攻		令和2年2月25日(火) ～2月27日(木)

4 合格者の発表

<前期日程試験>

令和2年3月5日(木) 午前10時 ※学内掲示・本学ホームページ掲載

<後期日程試験>

令和2年3月20日(金) 午前10時 ※学内掲示・本学ホームページ掲載

5 入学手続期間

<前期日程試験合格者>

令和2年3月8日(日)～3月14日(土)

<後期日程試験合格者>

令和2年3月22日(日)～3月27日(金)

第4 推薦入試

推薦入試の概要は次のとおりである。

1 募集人員・出願資格・推薦人員・選抜方法

(1) 美術工芸学部

(ア) 募集人員

学科	専攻	募集人員	
		県内枠	全国枠
美術学科	絵画専攻	1人	1人
	芸術学専攻	1人	1人
デザイン工芸学科	デザイン専攻	2人	2人
	工芸専攻	3人	3人
計		14人	

(イ) 出願資格

次の要件をすべて満たしている者

- ① 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月に卒業見込みの者(平成31年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)

なお、県内枠に該当する受験者は、沖縄県内の高等学校を令和2年3月に卒業見込みの者(平成31年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)で、本人又は保護者が平成31年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者とする。

- ② 学業成績・人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者
③ 調査書の学習成績概評がB段階以上の者
④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(ウ) 推薦人員

学科	専攻	推薦人員
美術学科	絵画専攻	1高等学校につき2人
	芸術学専攻	1高等学校につき2人
デザイン工芸学科	デザイン専攻	1高等学校につき2人
	工芸専攻	1高等学校につき2人

(エ) 選抜方法

① 絵画専攻・デザイン専攻・工芸専攻について

大学入試センター試験を免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志望理由書等の出願書類及び課題作品、小論文、面接の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。
※課題作品・小論文については、募集要項で発表する。

② 芸術学専攻について

大学入試センター試験を免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志望理由書等の出願書類及び小論文、面接の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。
※小論文については、募集要項で発表する。

(2) 音楽学部

(ア) 募集人員

学科	専攻	募集人員	
		県内枠	全国枠
音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	3人	3人
	音 楽 文 化 専 攻	2人	1人
	琉 球 芸 能 専 攻	4人	1人
計		9人	5人

(イ) 出願資格

次の要件をすべて満たしている者

① 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月に卒業見込みの者（平成31年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）

なお、県内枠に該当する受験者は、沖縄県内の高等学校を令和2年3月に卒業見込みの者（平成31年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。）で、本人又は保護者が平成31年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者とする。

② 学業成績・人物ともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

③ 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者。ただし琉球芸能専攻受験者は3.0以上の者

④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

注1：出願できる専攻・コースは一つとする。

(ウ) 推薦人員

学科	専攻・コース		推薦人員	
音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	声 楽 コ ー ス	各コース 1 高等学校につき 2人	
		ピ ア ノ コ ー ス		
	音 楽 文 化 専 攻	弦 楽 コ ー ス	各コース 1 高等学校につき 2人	
管 打 楽 コ ー ス				
琉 球 芸 能 専 攻	作 曲 理 論 コ ー ス	県 内	制限しない	
		県 外	1 高等学校につき 1人	

(エ) 選抜方法

大学入試センター試験を免除し、出身学校長が作成した調査書・推薦書・志望理由書等の出願書類及び実技、小論文、面接、音楽に関する基礎能力検査等の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(オ) 個別学力検査等

試験科目 専攻・コース		専攻試験				音楽に関する基礎能力検査							面接
		実技 検査	コール ユープ ンゲン	初見 演技	小論文	楽典 (※注2)	聴音	新曲 視唱	副科 ピアノ	初見 視奏	音楽又 は舞踊の 実技	初見 視唱	
音楽 表現 専攻	声楽 コース	◎	◎			◎	○	○	◎				◎
	ピアノ コース	◎				◎	◎			◎			◎
	弦楽 コース	◎				◎	○	○	◎				◎
	管打楽 コース	◎				◎	○	○	◎				◎
	作曲理論 コース	◎ (口述試験 含む)					○	○	◎				◎
音楽文化 専攻	沖縄文化 コース				◎ (口述試験 含む)	◎					◎		
	音楽学 コース				◎ (口述試験 含む)			◎	◎				
琉球芸能 専攻	琉球古典音楽 コース	◎ (調弦含 む)				◎							
	琉球舞踊組踊 コース	◎		◎		○						○	

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目、○印は、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻の楽典とは別問題とする。

注3：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽、琉球舞踊組踊コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器
(A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

(琉球舞踊組踊) 琉球舞踊、組踊

* 作曲理論コースでは、令和3年度入試から聴音を必ず受験しなければならない科目とし、新曲視唱については試験科目から廃止する。

* 琉球舞踊組踊コースでは、令和3年度入試から専攻試験に初見視唱を課す。又、音楽に関する基礎能力検査として楽典を課す。

2 出願期間及び選抜期日

学部	学科	専攻	出願期間	選抜期日
美術工芸学部	美術学科	絵画専攻	令和元年11月1日（金） ～11月8日（金）	令和元年11月23日（土） ～11月24日（日）
		芸術学専攻		
	デザイン学科	デザイン専攻		
		工芸専攻		
音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻		
		音楽文化専攻		
		琉球芸能専攻		

3 合格者の発表

令和元年11月29日（金）午前10時

4 入学手続期間

令和元年12月6日（金）～12月13日（金）

第5 社会人入試

社会人入試の概要は次のとおりである。

1 募集人員

学部	学科	専攻	募集人員
音楽学部	音楽学科	琉球芸能専攻	若干名（注）

注：一般入試の前期日程の募集人員に含む。

2 出願資格

次の各号の一に該当する者で、令和2年4月1日現在、社会人（就職・就学の有無は問わない）として4年以上経過し、かつ22歳以上の者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及びこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和2年3月31日までに合格見込みの者

3 選抜方法

大学入試センター試験を免除し、志願理由書、履歴書等の出願書類及び実技、小論文、口述試験の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

4 出願期間及び選抜期日

学部	学科	専攻	出願期間	選抜期日
音楽学部	音楽学科	琉球芸能専攻	令和2年1月27日(月) ～2月5日(水)	令和2年2月25日(火) ～2月27日(木)

5 合格者の発表

令和2年3月5日(木) 午前10時 ※学内掲示・本学ホームページ掲載

6 入学手続期間

令和2年3月8日(日)～3月14日(土)

第6 私費外国人留学生入試

1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ入学時において18歳に達していること。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施す2019年度（平成31年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者
- (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (5) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験N2レベル相当以上を目安とする）
（注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和2年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に取り扱う。

2 募集人員

若干名（一般入試の前期日程の募集人員を含む）

3 選抜方法

- (1) 大学入試センター試験を免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。
 - ①2019年度（平成31年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績
 - ②一般志願者との個別学力検査等を課した成績
 - ③出願書類等日本留学試験については、独立行政法人日本学生支援機構に照会すること。

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話 03-6407-7457

- (2) 個別学力検査等については、この要項の4～6ページを参照すること。

4 出願期間及び選抜期日

学部	出願期間	選抜期日
美術工芸学部	令和2年1月27日(月)	令和2年2月25日(火)
音楽学部	～2月5日(水)	～2月27日(木)

5 合格者の発表

令和2年3月5日(木) 午前10時 ※学内掲示・本学ホームページ掲載

6 入学手続期間

令和2年3月8日(日)～3月14日(土)

第7 その他

1 障がい等を有する等の入学志願者の事前相談について

事前相談の時期、方法等については募集要項に明記する。障がい等を有する者等で、受験時に合理的な配慮を必要とする入学志願者は、あらかじめ本学に申し出ること。

2 募集要項等の資料請求について

(1) 資料請求の時期と請求先

資料名	資料請求番号	発送開始時期	重さ(予定)	料金	資料請求先	
					①テレメール	②本学
大学案内(選抜要項同封)	568302	6月上旬	260g	250円	○	○
推薦入学学生募集要項	595492	7月下旬	125g	180円	○	○
音楽学部試験曲	588312	7月下旬	125g	180円	○	○
美術工芸学部学生募集要項	588322	8月下旬	200g	215円	○	○
音楽学部学生募集要項	588332	8月下旬	200g	215円	○	○

注1：複数の資料請求を行う場合は、各々の重さを加えた料金となる。速達希望者は別に速達料金が加算される。
なお、料金は資料の重さの変動により変更する場合がある。

注2：各請求先では○印の資料を扱うので、次項の要領で請求することができる。

(2) 資料の請求方法

①テレメールで請求する場合

① 次の3つの方法でテレメールアドレスにアクセスすることができる。

○ 大学ホームページから請求する場合は、ホームページの入試案内「資料請求」をクリックし、次にテレメールによる資料請求の項目をクリックする。

※ 大学ホームページアドレス <http://www.okigei.ac.jp>

○ パソコン・スマートフォン・携帯電話で請求する場合は、次のアドレスから請求する。

※ パソコン・スマートフォン・携帯電話各社共通アドレス <http://telemail.jp>



※右のバーコードからアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要となる。

○自動音声応答で請求する場合は、次の番号に電話する。

IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)

※IP電話への通話料金は、一般電話回線の場合、日本全国どこからでも3分毎に約12円となる。

①資料請求番号(6桁)をプッシュ又は入力する。

②あとはガイダンスに従って登録する。

※資料は発送日の翌日・翌々日に送付される。夕方までの受付は当日発送となるが、夕方以降は翌日発送となる。

なお、北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかる。

※資料が1週間以上経過しても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまで問い合わせること。

※料金(送料を含む)は、送付された資料に同封されている支払方法に従って支払うこと。

※自動音声応答による請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりと話すこと。登録された音声の不鮮明な場合は、資料をお届けできないことがある。

※①に関する問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター 電話050-8601-0102 (09:30~18:00)

②本学教務学生課へ資料請求する場合

本学で直接受け取る場合は、下記の場所で配布する。

請求先：〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話(098)882-5080
--

本学に郵送を希望する場合は次による。

○封筒の表に「大学案内(選抜要項同封)請求」、「推薦入学学生募集要項請求」、「音楽学部試験曲請求」、「美術工芸学部学生募集要項請求」、「音楽学部学生募集要項請求」と朱書きし、上記の住所に郵送すること。

○返信用封筒(角形2号・33cm×24cm)を同封すること。

なお、返信用封筒には、あて先(請求者の郵便番号、住所、氏名)を明記し、送料相当額の切手を貼ること。

3 入試成績開示請求について

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。

(1) 開示内容

当該年度入試の個人成績を得点又は段階評価で開示する。

(2) 開示請求できる期間

大学入試センター試験成績開示開始日から1ヶ月間

但し、土・日、祝日等休業となる日は除く。

(3) 開示請求の受付を行う場所

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(4) 開示の方法

本人部分のみ閲覧

(5) 開示請求に必要な書類

受験票のほか、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。

(6) 開示請求

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

(7) その他

電話による問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な方の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、沖縄県のホームページを確認すること。

令和2年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等について

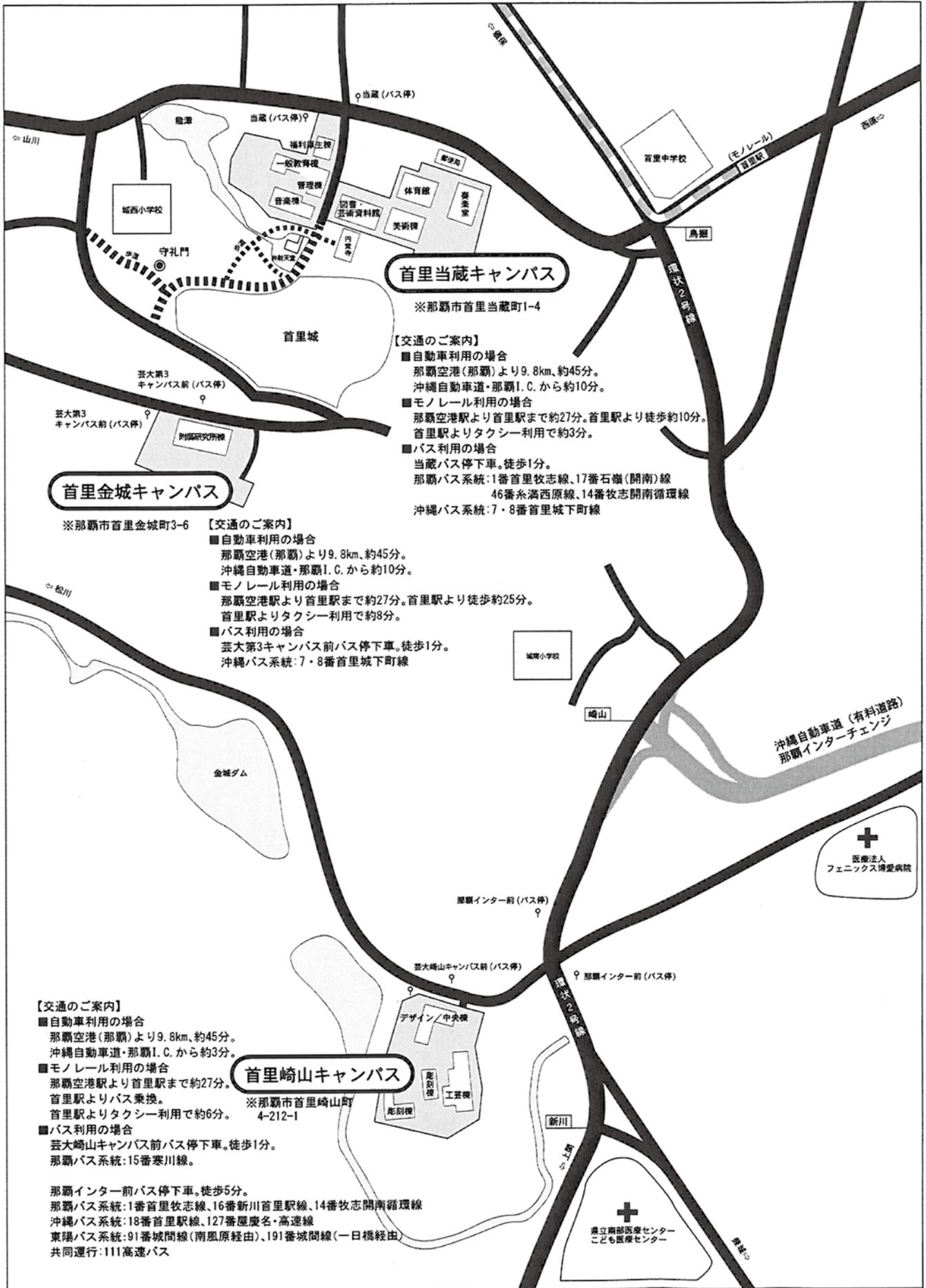
学部・学科 及び入学定員等 (平成31年度 志願倍率)	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験 の利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						その他の 選抜方法 等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段 階選 抜	試験の区分	国語	外国語	専攻 試験	音楽に關 する基礎 能力検査	面接		配点 合計		
音楽学部 (1.8) 40人 前期26 前推薦14	推薦 11/23~ 11/24	免除	その他	その他	〔声乐コース〕 実技検査、コーラルブレンゲン 楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、初見視奏、面接 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査(口述試験を含む)、聴音又は新曲視唱、副科ピ アノ、面接					500	200	50	750			
				その他	〔沖縄文化コース〕 小論文(口述試験を含む)、楽典、音楽または舞踊の実技 〔音楽学コース〕 小論文(口述試験を含む)、新曲視唱、副科ピアノ					500	200			700		
				その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見演技、楽典または初見視唱					600	100			700		
				その他	〔声乐コース〕 実技検査、コーラルブレンゲン、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、初見視奏 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ 〔作曲理論コース〕 実技検査(口述試験を含む)、楽典、聴音、副科ピアノ		センター試験	150	150						300	
				外国	国を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕							500	200		700	
				前期 2/25~ 2/27								500	200		700	
				前期17								500	200		1000	
				音楽文化 専攻 推薦3												
				琉球芸能 専攻 推薦5												
				音楽文化 専攻 前期4												
琉球芸能 専攻 前期5																
音楽学部 (1.8) 40人 前期26 前推薦14		免除	その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見演技、楽典または初見視唱					600	100		700				
	社会人			〔琉球古典音楽コース〕(琉球舞踊組踊コース) 実技検査、小論文、口述試験					600	400		1000				

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

(1) 本学では、大学入試センター試験の過年度成績は利用しない。

(2) 英語については、筆記試験とリスニングテストの合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

沖縄県立芸術大学周辺略図



首里当蔵キャンパス

※那覇市首里当蔵町1-4

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約10分。
首里駅よりタクシー利用で約3分。
- バス利用の場合
当蔵バス停下車。徒歩1分。
那覇バス系統:1番首里牧志線、17番石嶺(開南)線
46番糸満西原線、14番牧志開南循環線
沖縄バス系統:7・8番首里城下町線

首里金城キャンパス

※那覇市首里金城町3-6

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約25分。
首里駅よりタクシー利用で約8分。
- バス利用の場合
芸大第3キャンパス前バス停下車。徒歩1分。
沖縄バス系統:7・8番首里城下町線

首里崎山キャンパス

※那覇市首里崎山町 4-212-1

【交通のご案内】

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇I.C.から約3分。
 - モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約27分。
首里駅よりバス乗換。
首里駅よりタクシー利用で約6分。
 - バス利用の場合
芸大崎山キャンパス前バス停下車。徒歩1分。
那覇バス系統:15番寒川線。
- 那覇インター前バス停下車。徒歩5分。
那覇バス系統:1番首里牧志線、16番新川首里駅線、14番牧志開南循環線
沖縄バス系統:18番首里駅線、127番屋敷名・高速線
東陽バス系統:91番城間線(南風原経由)、191番城間線(一日橋経由)
共同運行:111高速バス